



「真風涼帆さん」
 そんな真風涼帆さんが「宝塚」と出会ったのは中学生の頃。全国ツアー熊本公演宙組をもっと知ってもらいたい。」

— 真風さんは笑顔で続ける。「演劇などを普段見ない人にも、宝塚の事や宙組をもっと知ってもらいたい。」

通称「宝塚」。同歌劇団は約400人が在籍し、花、月、雪、星、宙の5つの組と専科の計6つに分けられ、日々公演や稽古に励んでいる。真風さんは宙組80人弱の中の「トップスター」に昨年11月就任した。公演で主役を任せられる立場だ。

宝塚歌劇の世界

「女性が男性を演じている劇団って、初めての人は不思議に思うでしょうね」と真風さんは笑う。

これは、宝塚歌劇団を指しての言葉。100年以上の歴史を持ち、兵庫県宝塚市に本拠地を置く、未婚の女性のみで演じられる歌劇団である。日本で初めてレビューと呼ばれる大衆娯楽演芸を上演し、一躍有名になった。

上演される歌劇には、美しい歌や踊り、大掛かりな演出などが随所に散りばめられ、見るものをひと時の夢の世界にいざなう。

大正3年から続く、宝塚歌劇団。その歴史ある劇団で昨年11月、宙組のトップスターに就任した真風涼帆さん。大津町で生まれ育ち、大きく羽ばたいた彼女にクローズアップする。

を見に行ったときだった。

演目は、「大海賊」。きらびやかな衣装に華やかな歌やダンス。すぐに虜になった。そして、帰りのロビー。目に飛び込んだのは宝塚音楽学校の入学案内パンフレット。

「宝塚って受験できるんだ」。今考えれば、これが運命の出会いだったと振り返る。

1回目の受験は、バレエを習っているから受験してみたものの準備不足で不合格。ここで悔しさに火がついたが、2回目も失敗。何が何でも受かりたいと勉強をした3回目の受験で夢の切符を手にした。それからは、無我夢中



©宝塚歌劇団

Present

- 真風涼帆さんのサイン入りミニカレンダーを5人にプレゼントします。
- 応募締切 1月31日(水) 必着
 - 応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、真風さんへの応援メッセージを記入し、応募ください。
 - 当選者発表 当選者の発表は賞品の発送をもってかえます。
 - あて先 〒869-1292 (住所不要) 大津町役場「サイン入りカレンダー」プレゼント係

で、夢を追い続けて稽古。「タカラジェンヌ」にふさわしい人間になるための勉強の日々。

一つ夢をかなえると、次の夢ができた。夢を実現するまでの道のりは、いつも自分を成長させる糧になった。そして迎える1月12日。東京国際フォーラムで始まるトップスターとしての「お披露目公演」WEST SIDE STORY。STORY「宙組誕生20周年の幕開け」もあり、稽古にもより一層、力が入る。

トップスターになった重責は外からどうかがい知れないが、「宝塚や宙組をたくさんの人に知ってもらおう為の挑戦を続けたい」という思いや、「努力」を表に出さず、どんなことも「糧」と笑い飛ばすその笑顔に、乗り越えてきた壁の数を感じさせた。

私にとつての「原点」

元気が有り余り、歳の離れた弟と自転車で大津町中を駆け回ったり、崖のような険しい斜面を滑り降り遊んだ少女時代。学校の畑で育て、収穫したくらいもで作ったおやつが好きだったと振り返る。昨今は忙しく、年に1、2回しか帰ることはできないが胸にはいつも故郷がある。

「地震を乗り越えた大津町の皆さんに勇気をもらい、前向きに頑張る姿勢を誇りに思います。「私は宝塚で頑張るから」と胸を張っている故郷が好きです」。

大津町が生んだトップスターは今日も努力と挑戦を続け、私たちの光になっている。

宝塚歌劇団 宙組トップスター
真風 涼帆さん

Profile まかぜ・すずほ
 宝塚歌劇団 宙組トップスター。平成18年に入団。身長175cm、長い手足と端正な顔立ちがエレガントな雰囲気をかもし出す。トップ披露公演を控え、注目を集めている。



「私は宝塚で頑張るから」

Information

- 宙組公演 《主演》真風涼帆
- ミュージカル 『WEST SIDE STORY』
 - 公演日 1月12日(金)～25日(木)
 - 場所 東京国際フォーラム(東京都千代田区)
- 昭和32年にブロードウェイで初演後、圧倒的なダンスと心揺さぶる名曲の数々で大ヒットしたミュージカルの最高傑作の一つ。※販売予定枚数はすでに終了しています。
- 『天は赤い河のほとり』
 『シトラスの風— Sunrise —』
 - 公演日 3月16日(金)～4月23日(月)
 - 場所 宝塚大劇場(兵庫県宝塚市)
- 少女漫画原作の同作品をミュージカル化。古代オリエントを舞台に繰り広げられる、ロマンティックな歴史ファンタジーに真風涼帆を中心とした新生宙組が挑む。宙組誕生20周年記念レビューとの2本立て公演。
 ※一般販売は2月17日(土)開始。
- 問い合わせ
 宝塚歌劇インフォメーションセンター
 ☎0570(00)5100



©宝塚歌劇団

▲『天は赤い河のほとり』